

# 地理歴史科 地理B シラバス

対象学年クラス： 2年1・3・5・7組（選択） 単位数： 3単位

## 1 地理歴史科の目標

世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会で主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

## 2 地理Bの到達目標

現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

- ①自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。
- ②現代の世界を地域（市町村規模、国家規模、州、大陸規模）を通して学ぶ。
- ③現代社会の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食糧問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。
- ④地理Bの学習が、世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題について考え、自分の意見を発表する力を身につける。

## 3 教材

教科書：「新詳地理B」（帝国書院）「標準高等地図--地図でよむ現代社会--」（帝国書院）

副読本：「新詳地理資料 COMPLETE 2020」（帝国書院） …特進クラスのみ

## 4 授業方法及び形態

教科書・地図帳を多面的に利用し、ノートやプリントををまとめていくことで内容の理解を図る。講義や作業・発表が中心となり、時事問題や国際問題など世界の諸地域との関連も深い。他教科や既学習範囲と授業の内容を関連づけた学習が必要であり、自ら考え、発表する力も求められる。資料や問題プリントを単元に応じて配布していくので、生徒各自が板書やファイルへのまとめをしっかりと行うことを意識づける。

## 5 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度……現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

思考・判断……現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。

資料活用の技能表現……地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。

知識・理解……現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

6 学習指導計画及び評価基準

月	単元と項目	数時	学習の目標(ねらい)及び内容	評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
4	<b>第I部</b> <b>さまざまな地図と地理的技能</b> <b>1章 地理情報と地図</b> <b>1節 地図の発達</b> 1 現代世界の地図 2 世界観の変化と地図	2	現代世界の地図について、どのような技術を利用してつくられているかをとらえ、地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。	○現代世界の地図について、さまざまな技術を利用してつくられた地図の読図や比較、地理情報の地図化などの活動を通して、現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○リモートセンシング・GNSS・GISなどを利用してつくられた地図の有用性について考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 ○時代背景や地図の中心の違いなどによる世界観を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○作成方法や世界観が異なる現代世界のさまざまな地図を収集・比較し、有用な情報を適切に選択できる。	○リモートセンシング・GNSS・GISなど現代世界の地図作りに利用される技術の特徴と有用性を理解し、その知識を身につけている。 ○世界地図における各時代の人々の世界観の変化を理解し、その知識を身につけている。
		2	球体としての地球の特徴をとらえ、緯度・経度の違いによって時差や気候に違いが生じるメカニズムを考察する。さらに、球体を平面に表現した地図の種類とその利用についても考察し、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身につける。	○地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴や緯度・経度の違いによる影響、地図に表現した場合の特性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地図の種類とその利用について、緯度の違いによる人々の生活への影響や、球体を平面に表現した地図の種類とその利用について考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地球儀を用いて、地球上の任意の地点の緯度・経度を表したり、大陸間の方位や距離、時差を示したりする方法を身につけている。	○球体としての地球の特徴と位置を地球儀に示す方法、これを地図に表現した場合の各図法の長所短所について理解し、その知識を身につけている。
		2	情報の地図化や読み取りなどの活動を通して、地図の有用性に気づくとともに、地理情報を地図上に表現する際の効果的な表現方法を考察する。	○地理情報が表現された地図の作図や読み取りなどの活動を通して、地図の有用性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地理情報を統計地図化するにあたり、どのような表現方法を用いれば適切な地図がつけられるかを考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○さまざまな統計地図から、示された情報を適切に収集するとともに、地理情報を地図化する際、情報の特性に応じて地図の形態を使い分け、適切な統計地図を用いることができる。	○統計地図の種類や長所短所、適する用途を理解し、その知識を身につけている。
5	<b>2章 地図の活用と地域調査</b> <b>1節 地図の活用</b> <b>2節 身近な地域の調査</b> 1 調査テーマの設定 2 課題の調査 3 調査結果のまとめと発表	2	地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身につける。	○地図の活用と地域調査について、地形図の読図や資料収集などを意欲的に行い、地域調査に対する関心と課題意識を高めている。	○地図の活用と地域調査について、地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地形図の読図などを通して、調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。	○地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真の利用方法を理解し、その知識を身につけている。

<b>第Ⅱ部</b> <b>現代世界の系統地理的考察</b>	<b>1章 自然環境</b> <b>1節 世界の地形</b> 1 地形の成因 2 地球規模の大地形 3 河川と海岸の小地形 4 そのほかの特徴的な地形	5	世界の地形について、大地形、小地形、そのほかの地形の分布や特徴、成因について考察するとともに、災害や土地利用など人間生活とのかかわりを考察する。	○世界の地形について、その分布や特徴、成因などについて関心を高め、災害や土地利用など人間生活とのかかわりについて意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の地形について、その分布や特徴を成因と関連付けて考察するとともに、人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地形図や写真などの資料から、有用な情報を適切に選択し、その地域の地形の特徴と成因を読み取ることができる。	○世界の地形について、分布や特徴、成因や人間生活とのかかわりについて理解し、その知識を身につけている。
	<b>2節 世界の気候</b> 1 気候の成り立ち 2 世界の気候区分 3 気候と植生・土壌 4 変化する気候	8	世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに、気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また、地球規模での気候変動と人々への影響を考察する。	○世界の気候について、地域ごとの気候の違いや人間生活との関係に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の気候について、地域ごとの違いや特徴を、地球規模の循環現象などと関連付けて考察するとともに、人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の気候について、地域や気候区ごとの違いを示す雨温図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。	○世界の気候の成因、各気候区の特徴、気候変動と異常気象などについて、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。
	<b>3節 日本の自然の特徴と人々の生活</b> 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災	4	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察する。	○日本特有の地形・気候と、これによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本の地形や気候の特徴を、プレートや大陸との位置関係などから考察するとともに、日本で発生しやすい災害の特徴やこれに対する防災のあり方を多面的・多角的に考察し、その要因や課題を適切に表現できる。	○日本の地形と気候、自然災害と防災に関するデータや写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、日本の地形と気候、自然災害と防災の特徴や課題を読み取ることができる。	○日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方を理解し、その知識を身につけている。
	<b>4節 環境問題</b> 1 世界の環境問題 2 さまざまな環境問題 3 日本の環境問題	3	世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察する。	○世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界と日本の環境問題の原因、影響、対策について、自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し、特徴や地域的な分布、今後の課題などについて適切にまとめ、表現できる。	○世界と日本の環境問題に関するデータや写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、状況変化の推移や地域差などを読み取ることができる。	○世界と日本の環境問題の原因、影響、対策などを理解し、その知識を身につけている。
6							

7	<b>2章 資源と産業</b> <b>1節 世界の農林水産業</b> 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 世界の林業・水産業 5 日本の農林水産業	7	世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。	○世界の農林水産業について、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○現代世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○現代世界や日本の農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。	○世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。
9	<b>2節 食料問題</b> 1 世界の食料問題 2 発展途上国の食料問題 3 先進国の食料問題 4 日本の食料問題	4	食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国と先進国の事例を考察する。また、日本が抱える食料問題を考察する。	○食料問題について、発展途上国や先進国、日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○食料問題について、発展途上国や先進国、日本の食料問題の状況とその成因を、系統的にとらえる視点や考察方法を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○食料の生産と消費の推移や地域的なかたよりに関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、食料問題の現状や課題について読み取ることができる。	○食料問題について、その要因となりうる自然条件や社会条件などを理解し、それらの対策などに関する知識を身につけている。
	<b>3節 世界のエネルギー・鉱産資源</b> 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用	5	世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状や方法を考察する。	○世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布のかたよりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布のかたよりを、自然環境の学習内容などをふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。	○世界のエネルギー・鉱産資源について、その種類や分布、おもな利用法などを理解し、その知識を身につけている。
10	<b>4節 資源・エネルギー問題</b> 1 現代世界の資源・エネルギー問題 2 さまざまな資源・エネルギー問題 3 日本の資源・エネルギー問題	5	資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取り組みを考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。	○資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、国や資源ごとの特徴や課題について読み取ることができる。	○資源やエネルギーの不均衡や石油情勢、エネルギーのあり方などを理解し、その知識を身につけている。

	<b>5節 世界の工業</b> 1 工業の発達と種類 2 工業の立地とその変化 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 日本の工業	5	世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。	○世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の工業について、工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。	○世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題、及び日本の工業の特徴と課題を理解し、その知識を身につけている。
	<b>6節 第3次産業</b> 1 第3次産業の発展 2 多様化する観光産業 3 日本の観光産業	3	第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差などをとらえるとともに、世界と日本の観光業の特徴を考察する。	○第3次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○第3次産業の地域差や近年の動向について、情報化や国際化進展の影響などをふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○商業やサービス業、観光業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、第3次産業の動向や地域差について読み取ることができる。	○商業やサービス業、観光業の特色や動向などを理解し、その知識を身につけている。
11	<b>7節 世界を結ぶ交通・通信</b> 1 世界の交通網 2 情報と通信の発達	3	世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえるとともに、通信の発達による世界の一体化と地域差を考察する。	○世界を結ぶ交通・通信について、交通機関の種類や特徴に対する関心高めるとともに、通信の発達による世界の一体化と地域差に対する課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○交通機関や通信の発達によって一体化が進む世界が抱える課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、世界を結ぶ交通・通信網の分布や地域差について読み取ることができる。	○交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大などを理解し、その知識を身につけている。

	<b>8節 現代世界の貿易と経済圏</b> 1 私たちの生活を支える貿易 2 国際分業の発達と貿易の地域間格差 3 貿易の自由化と経済連携 4 日本の貿易の現状と課題	3	現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また、現代世界における日本の貿易の現状と課題を考察する。	○現代世界の貿易と経済圏について、国際分業が進む世界と日本の貿易の現状に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○現代世界の貿易と経済圏について、国際分業の現状と課題をふまえて、貿易の自由化と経済連携の動向と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、現代世界の貿易と経済圏の規模や地域間関係について読み取ることができる。	○貿易に関する用語や経済圏の組織、世界の貿易の特色や動向などを理解し、その知識を身につけている。
12	<b>3章 人口、村落・都市</b> <b>1節 世界の人口</b>	3	世界の人口について、その分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。	○世界の人口について、その分布の特色や動態、人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の人口について、世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因、人口構成と人口転換の考え方、国際的な人口移動の背景を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界や州別・国別の人口分布や動態に関するデータ、人口ピラミッドなどの諸資料から、有用な情報を適切に比較・選択し、世界人口の特色や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。	○世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみを理解し、その知識を身につけている。
	<b>2節 人口問題</b> 1 世界の人口問題 2 発展途上国の人口問題 3 先進国の人口問題 4 日本の人口問題	3	人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。	○発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の人口問題について、発展途上国と先進国の違いをふまえて、それぞれの課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から、有用な情報を適切に比較・選択し、人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。	○発展途上国、先進国、日本のそれぞれについて、人口問題の実態を理解し、その知識を身につけている。
	<b>3節 村落と都市</b> 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の機能と生活	4	村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察する。	○村落と都市について、その立地条件や発達経緯、機能に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○村落と都市について、その立地や構造を、地域の歴史や自然条件、社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○村落や都市の形態や分布、人口規模、都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ることができる。	○村落と都市の立地条件や、発達の背景、機能などを理解し、その知識を身につけている。
	<b>4節 都市・居住問題</b> 1 世界の都市・居住問題 2 発展途上国の都市・居住問題 3 先進国の都市・居住問題 4 日本の都市・居住問題	4	都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。また、日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。	○発展途上国と先進国のそれぞれについて、都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○都市・居住問題について、世界の都市・居住問題の要因や対策をふまえて、日本の都市・居住問題の対応と課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題に関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、都市ごとの問題点の相違などについて読み取ることができる。	○発展途上国、先進国、日本の都市・居住問題の特徴や、解決への道筋などを理解し、その知識を身につけている。

1	<b>4章 生活文化、民族・宗教</b> <b>1節 世界の衣食住</b> 1 世界の衣食住の地域的差異 2 衣食住の世界的な画一化 3 日本の衣食住	4	世界の衣食住について、地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。また、日本の衣食住の特徴やその変化を考察する。	○世界の衣食住について、地域的差異が生じていることに対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の衣食住について、さまざまな衣食住の地域的差異の背景、世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の衣食住の写真や分布図、巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ることができる。	○衣食住の分布や地域的差異の特徴、画一化の進展状況などを理解し、その知識を身につけている。
	<b>2節 民族と宗教</b> 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	3	民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。	○民族と宗教について、その分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族と宗教について、民族とは何かを言語とのかかわりから、宗教とは何かを生活とのかかわりから、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○民族と言語や、宗教と生活のかかわりに関する写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて読み取ることができる。	○世界の言語分布や宗教の特徴、生活とのかかわりなどを理解し、その知識を身につけている。
	<b>3節 現代世界の国家</b>	3	現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を考察する。	○現代世界の国家について、その領域や国境、国家形態そのものの違いに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○領域・国境やさまざまな国家に関するデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、現代世界の国家の特徴について読み取ることができる。	○国境と領域のきまり、さまざまな国家の分類などを理解し、その知識を身につけている。
2	<b>4節 民族・領土問題</b> 1 世界の民族・領土問題 2 多様な原因をもつ民族・領土問題 3 共生に向けた取り組み 4 日本の領土をめぐる問題と外国人との共生	7	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また、日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題を考察する。	○民族・領土問題について、そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族・領土問題について、世界各地や日本の事例を取り上げ、問題が起こる背景や、これを解決して民族が共生するための方策を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界各地でおこっている民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。	○世界各地の民族・宗教や領土に関する問題や多文化共生の取り組みなどを理解し、その知識を身につけている。
3	<b>1章 現代世界の地域区分</b> <b>1節 地域区分とは何か</b>	8.0	地域区分の目的と意義を理解し、有用性に気づく。	○地域区分の目的や意義をふまえて、その有用性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地域区分の目的や意義、有用性について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地域区分の目的や意義をふまえてさまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し、読み取ることができる。	○地域区分の目的や意義、方法、有用性を理解し、その知識を身につけている。